

Chottolいいかも！

節分や立春とは？

2月3日は節分。昔、中国では、節分は季節の変わり目なので邪気が入りやすいと考えられ、旧年の災難などを祓(はら)い清める「追儺(ついな)」や鬼を追い払って邪氣祓いをする「鬼遣(おにやらい)」が行われたそうです。日本に伝わり、平安時代に宮中行事として取り入れられ、その一つにある「豆打ち」が江戸時代から「豆をまいて、邪気や災難の象徴とされる鬼を追い払う」行事として庶民に広がったと言われています。

ちなみに、豆は穀物の精霊が宿っている神聖なものとされています。生の豆だと捨い忘れるとき芽が出て良くないといわれ、煎つた豆を使うのが良いそうです。



節分は、時節の前日の意味があるので、立夏、立秋、立冬の前日はすべて「節分」と言われています。

立春とは？

まだまだ寒さが残る2月ですが、4日は立春。まさに、冬から春に変わる日で、ここから春の訪れを感じられるという意味があります。また、春の訪れということで、旧暦では「1年の始まり」とも言われているそうです。ちなみに、立春はほぼ毎年2月4日ですが、太陽の角度から算出され、その変化によっては、3日や5日の年もあるそうです。

只今

新しい住まい施工中 伊那市・宮田村



伊那市のM様邸新築工事、引き続き内部造作工事を行なっています。特徴のある三角屋根の形そのままに、内部も天井が張られ、建物の高さを有効的に利用できる小屋裏収納など二階は複雑ですが、大工さんが手際よく作業進めています。ダイニング上には吹き抜けがあり、二階の廊下と空間がつながり、少しつるげるスペースもあって、面白い空間が出来上がりそうです。リビング上部は、化粧で梁が表れ、木のぬくもりを感じます。大工さんの造作工事も終盤です。3月の完成が楽しみです。



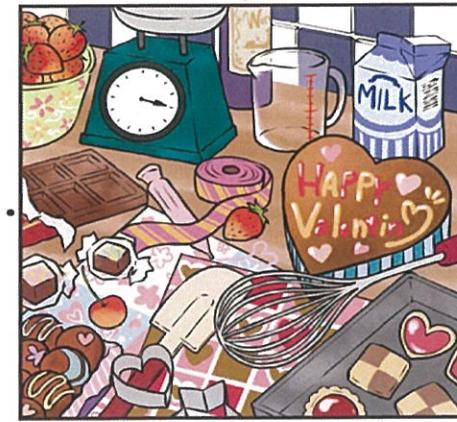
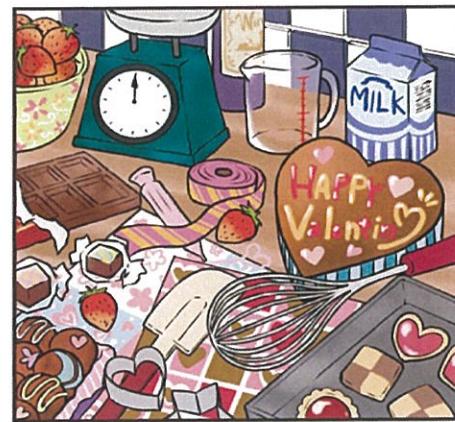
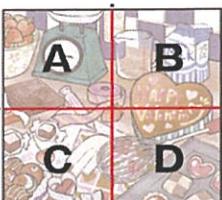
宮田村のK様邸改修工事、引き続き内部造作工事を行っています。天井下地ボード張り終わり、床の無垢フローリングを張っています。ダイニングの天井には、無垢の桜の羽目板を張りました。木目がきれいで、アクセントとなる天井に仕上りました。桜の無垢フローリングは塗装が施されていて、艶があってとてもきれいで。すぐに養生をしてしまうので、完成までに姿を見ることはできませんが、きれいに晴れてうれしいです。寒い中、大工さん作業ありがとうございます。



伊那市のK様邸改修工事完了しました。K様のお宅は他社の建設会社さんで建てられた住宅ですが、昨年雨漏りするとのことで連絡をいただき、調査を行いました。雨漏りの場合は、まずは原因を探ります。天井裏を見ることが出来なかつたので、天井点検口を取付けて、屋根裏の状況を確認しました。雨漏り箇所の上のベランダから、雨水が進入していると思われるため、ベランダの壁の補修と床の防水改修を行いました。合わせて、玄関、階段、リビング、台所のクロスの張替えも行ない、明るい室内に生まれ変わりました。K様ありがとうございました。

間違い探し

左右のイラストで違う箇所が5つあります。左の表から間違いの多いエリアをアルファベットで答えてください。



●答えは最終面の
シカクの中に！

interior&Craft

キャンドルに使われるろうにアロマオイルやドライフラワーなどを加えて香りを楽しむ「アロマワックスバー」。そのままで香るので手軽に使えます。



つくってみよう！

【材料】
蜜ろう、ソイワックス各30g、またはパラフィンワックス60g、お好みのドライフラワー、ドライフルーツなどのパーツ、お好みのアロマオイル10~30滴、お好みの型（100円ショップのお菓子の型など）

①ドライフラワーなどを型に入れて配置を決める。パーツはいったん取り出すか、型の横で配置を決めてもOK。

②蜜ろう＆ソイワックス、またはパラフィンワックスを湯煎で溶かし、溶けてきたらお好みのアロマオイルを入れる。

③型（薄いなら二重にして）にろうを流し込み、お好みのドライフラワーなどを置く。

④30~40分ほど放置し、固まったら、型をはずす。

※固まるのが意外に早いので、手早く置きましょう。

■自由な材料でつくろう！
材料はインターネットや100円ショップ、ホームセンターで手に入れます。市販のキャンドルを溶かしてもいいですし、パーツはボブリなど家にあるドライなものを取り入れてみては？自分だけのオリジナルをつくって楽しめましょう♪



平成27年4月より LIXILリフォームショップ として生まれ変わりました。